

文楽公演上演資料集凡例

「上演年表」

- 外題・場割等の表記は、上演時の番付・筋書に忠実なるを旨とした。
従って、『義太夫年表—近世篇』一～三下・別巻〈補訂篇〉、『義太夫年表—明治篇』、『義太夫年表—大正篇』、『義太夫年表—昭和篇』一～五、『文楽興行記録昭和篇』（高木浩志調、昭和2～38年3月）に番付が完全翻刻されているもの、及び当劇場に番付・筋書が所蔵されている公演については、一部の誤植訂正を除いて、全てそれらの表記に従った。
ただし、番付・筋書等で確認できない公演については、欄外に△を付し、出典の表記をそのまま踏襲して後考にゆだねた。各『義太夫年表』の欄外の注記から取材した配役には*を付した。出典の破損等により確認できない部分については、文字単位は□で表し、連続する部分は[不可知]と表記した。
なお、劇場の所在地については、それが大阪の場合は割愛した。

○各記号

- ／は役を複数で交替した場合を示す。
//は数種の組合せによる交替を示す。
＝は太夫と三味線の組合せを示す。
・は太夫の掛合または三味線のツレ弾きを示す。
—は掛合における太夫の役名との対応を示す。
＋は複数の役を勤めたことを示す。

- 太夫の表記の際「—太夫」「—大夫」の文字は省略した。

- 人形役割の欄には、主要な役のみその遣い手を記した。また、その興行が人形入りであって、役割が不明のものについては（不明）と記した。

「参考資料一覧」

- 上演資料集掲載号のうち、歌舞伎公演のものはカ、文楽劇場公演のものはブと付記した。

- 備考にある表記は以下の通り。

- ① 発行年月、②収録段名、③特記事項、④発行所

- 人名上の（）内は代数。